



しょくいく がつごう 食育だより 3月号

学内発 22-12号
令和7年3月10日
大阪府立豊中支援学校

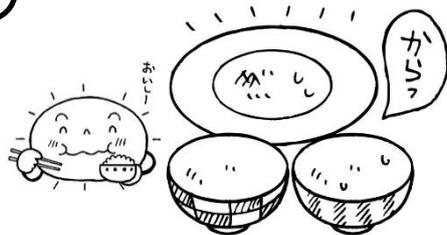


今年度も、残りわずかになってきました。先生やクラスの友だちとの楽しい思い出をふりかえりながら、締めくくりの時期を大切に過ごしましょう。

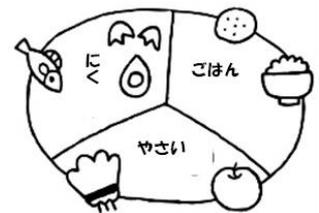
ねんかん せいちょう 1年間の成長をふりかえろう

★できたと思うものに○をつけよう 

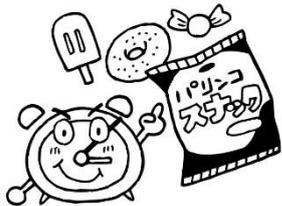
この1年間の食育だよりでは、栄養やマナーなどいろいろなことをお伝えしてきました。今月は1年間の食生活をふりかえり、自分の成長を確かめましょう。



①朝昼夕、1日3食
食べた



②ご飯などの主食、肉や魚などの主菜、野菜などの副菜をバランスよく食べた



③間食はいつ食べるか時間を決めて、食べ過ぎなかった



④食べられることに感謝できた



⑤みんなで仲良く食べた



⑥ながら食べをしなかった



⑦よくかんで食べるよう心がけた



⑧苦手な食べ物にも親しみをもつことができた

★大人の人と一緒に読もう

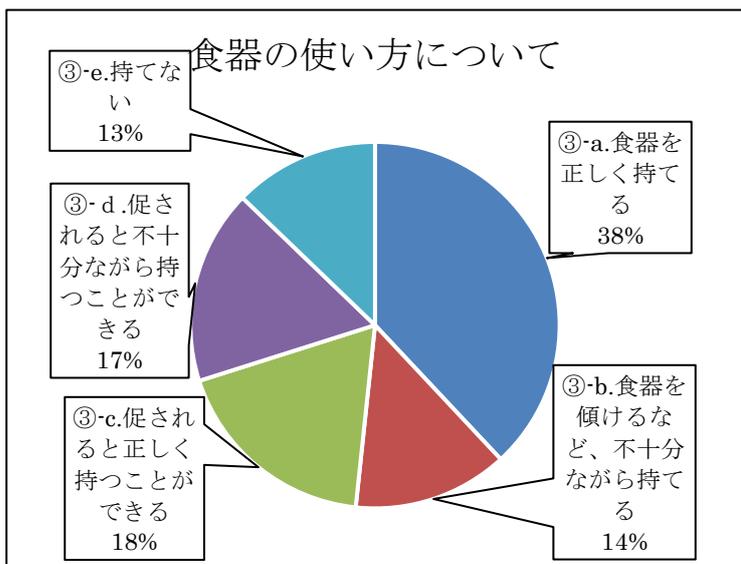
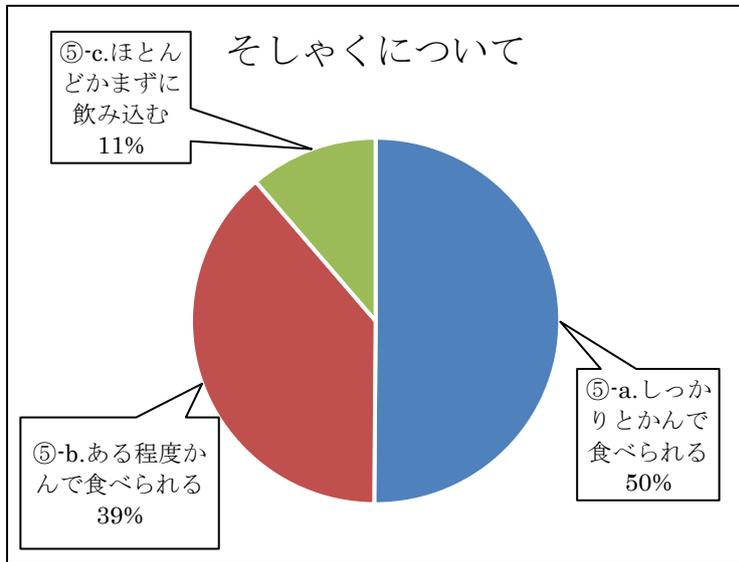
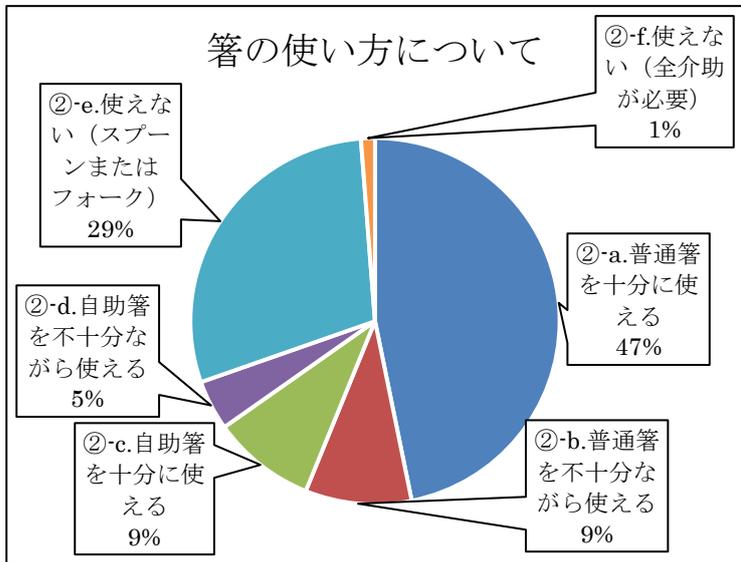
給食実態調査

報告

本校では、給食に関わる児童生徒の実態を毎年調べています。調査は、担任が普段の様子を回答します。今回は「給食摂食機能状況調査」の結果についてお伝えします。
*先日配付した食習慣アンケートとは別の調査です。

給食摂食機能状況調査

箸の使用やそしゃくなどの摂食機能についての状況を調査。結果は普段の給食指導に活用します。(一部抜粋。各回答の番号は設問番号)



●ポイント

〈箸 ②-e〉
7割が小学部。小学部1～4年は献立にかかわらず、毎回スプーンを提供しています。

〈食器 ③-a,b〉
「正しく持てる」「不十分ながら持てる」が昨年度と比べ増加。「促されると持つことができる」が3.5割を占めるため、自ら持てるように意識づけをしたいと考えています。

〈そしゃく a〉
かみ応えのある食材や献立を取り入れているので、給食を活用し、よくかんで食べる習慣を意識づけたいと考えています。

個別対応・その他について (%)

⑦-a 魚の骨・果物や豆の皮などの除去が必要である	15
⑦-b 食べる順番や量などの指導が必要である	23
⑦-c 適量を取り分ける介助が必要である	9
⑦-d 適量を口へ運ぶ介助が必要である	2
⑦-e 肥満による減食が必要である	6
⑦-f 健康上の理由により、補食(弁当など)の持参が必要である	2
⑦-g 配膳されたものを残さず食べた(配膳量に関わらず)	92
⑦-h 給食前に手洗いをしている	93
⑦-i 強い偏食(こだわり)がある(給食をほとんど食べられない、決まった食材しか食べないなど)	7
⑦-j 時間内に食べきれない	6
⑦-k 早食いである	22
⑦-l クラスの食器カゴに入っていない食器を使用している(持参、配膳台からの持ち出しも含む)	6
⑦-m 10月31日の「豚肉の生姜焼き」をかみ切ることができた	80

引き続き、児童生徒のみなさんの食経験を増やせるように、いろいろな食材や献立を取り入れた給食を提供していきます。

